

SSHハワイ研修② -4日目・5日目-

前号(第286号)に引き続き、「SSHハワイ研修」の現地レポート第2弾です。読んでみるとハワイ島に行きたくなりますね(^o^)

4日目は、前日、ハワイ大学で火山学の講義をしてくださった Cheryl Gansecki 先生のご指導の下、世界遺産に認定されている**キラウエア火山国立公園**で火山や溶岩地形などの観察を1日かけて行いました。キラウエアビジターセンターで先生と合流し、様々なポイントを車でまわりました。溶岩台地から火山の噴火の大きさを体感しました。また、**ペレの涙やペレの髪**の毛の観察を行い、でき方を学んだり、**溶岩トンネルやクレーター**を観察したりしました。高台からみる大きく開いたクレーターは圧巻でした。昼間は水蒸気が、夜は溶岩で赤く照り輝く**ハレマウマウ火口**を高い地点から見ることができ、大変感動をしました。**地球の偉大さ、息吹**を感じた1日でした。

5日目は、ハワイ大学の植物学の Rebecca Ostertag 先生のレクチャーのもと、**ハワイ固有種と植物全般、環境**について1日調査をしました。ハワイ島は高山帯、熱帯雨林帯、乾燥帯、溶岩が流れたばかりの地域、**キプカ**(たまたま溶岩が流れず、前からの植生が残されたこと)など少しの移動で、**多くの気候区分帯**に行くことができました。その区分ごとに、**オヒアレフア**の葉の大きさ、枚数、厚さ、周りの毛の状態などを調査し、ちょっとした環境の変化で、大きく変化する様子が見られました。さまざまな環境での調査を通して、オヒアレフアの場所に適した形に少しずつ適応放散しているということが分かりました。

いよいよ明日の早朝、日本へ戻る飛行機に乗ります。この5日間を通して、天候も**ほとんどが晴れ**であったため、地球の自然や多様な動植物の性質などの調査・観察を計画通りに行うことが出来ました。最後の反省会で、参加生徒10名は、とても**楽しかった、充実していた**という感想を述べていました。素晴らしいSSHハワイ研修でした。

